

設問C4-3-(3) (外国から来られた信徒との交わりを深め、教区、地区、小教区の委員会や活動への参加を推進する) に対する「その他」の具体的な回答

番号	回答内容
1	バザーへの外国人の関わりを実施。
2	バザーに外国人の方も（ベトナム、フィリピン）出店され、皆で協力して行った、通常のみサに来られた方にも声をかけてあいさつすることなどを心掛けている。
3	特にしていない。受容したいとは思いますが、機会がない。
4	巡礼団のお迎えにたずらわらせていただいています。
5	祈り。
6	所属する小教区に外国の方が少ない。でも、困っていることがあるなら、協力はしたい。
7	外国から来られた信徒のために祈り続けている。
8	ベトナム人の子どもの初聖体の学びや教会学校の活動をともにしている。
9	ユニオン、移住連等と連携して、劣悪な環境下に置かれている外国からの技能実習生等の受入れをしている。
10	必要な人に宿を提供している。
11	今年の聖週間のみサで、外国製の方と一緒にみサに与り、朗読、奉納、共同祈願を依頼した。
12	外国人はほとんどいない。
13	みサに来られている外国人の方に声をかけている。
14	みサの時間など（みサがないことも）変更になったとき、メールでお知らせしている。
15	出来ていません。
16	自分にできることがありましたら、参加したいと思います。
17	取り組めていない。
18	できていません。
19	出会いがあれば話しかけようとしている。
20	個人的には活動していない。
21	数年前になりますが、日本語学校に通う方に朝食を提供したことがあります。
22	外国人も教会委員会に参加してもらうべきだ。日本語を理解される方もおられる。
23	奉納をお願いする。朗読を自国語で良いのでもお願いしてみるが、朗読は辞退され、外国人の人自体が少ない教会。
24	みサに参加した外国人達に話しかける様に務めている。
25	コロナ前までは、来られた外国籍の方と親しく交わっていたが、急に教会に姿を見せなくなった。淋しい思いをしている。
26	身近な外国の方とかかわっている。
27	言葉の壁もあると思うが、みサ後の司祭や信徒が外国籍の方と話す姿はほとんど見られない。むしろ、避けているように見える。
28	CLCを通して自分ができていることを見直し、自分でできることを。
29	外国人の方の困りごと（葬儀当の行政上）の支援をした。
30	みサ後の外国人と信徒への声掛け、会話。
31	バザー等で参加
32	外国人、特にベトナムの方に世話人としてふれあい広場にて親睦している。
33	言葉や文化の違いで困っているときに手助けになれば良いと思う。
34	交わりを持っていない。
35	神父様はベトナム人に対して良く配慮していると思う。小教区では若者の多くはベトナム人。

番号	回 答 内 容
36	たまに外国人が来られたときは、言葉はわからなくても積極的に声をかけています。
37	外国の方に声をかけるようにしている。
38	聖歌の練習
39	ベトナムの人たちは、自分たちだけでグループをつくって日本人の信徒と交わろうとしない。声のかけようがない。こちらもなるべく声をかけようとしているが、あいさつだけでそれ以上交わりが進まない。
40	外国からの人はなし。
41	外国の方との交流の場がないし、教会に訪れることもない。
42	いない。
43	外国人はいない。
44	外国人はいません。
45	教会に外国人の方が来られない。
46	ベトナム人の集い（ミサ、食事、ゲーム）
47	外国人はいない。
48	現在、外交人信徒が来ていない。
49	外国人との会話は難しいので、積極的に話しかけられないが、そのようなきかいがあったら良いと思います。
50	まだ実行に至っていない。
51	外国語ミサへの参加。
52	一生懸命日本語を学びながら聖書朗読に励む彼らの努力は素晴らしい。
53	巡礼などで来られる方の対応。
54	人種差別は絶対に許されない事、兄弟姉妹としての愛を持って関わること。 日本に来てくださっている司祭などへの感謝を大切に。
55	フィリピン人希望者に、小さな黙想会の場を提供している。英語での講話、ミサ、ゆるしの秘跡、食事会ができるように、手伝っている。
56	高齢者の共同体ですので、祈りをもってこの地域の外国からの人たちのために祈る。 出向いていくとも大切だが、宣教の対象者の状況をよく知り、念頭において、関わる。 交わり、接し方などを皆で楽しく学べる方法を検討する。
57	ミサによく与られているので、笑顔で挨拶をかわし、また、小さな言葉かけをするように心掛けています。教会外で出会っても。
58	外国籍の信徒の方と積極的にコミュニケーションをとっている。
59	特にありません
60	英語ミサに参加した
61	教会に来られる外国人の方に挨拶するようにしている
62	司祭に許可を得て、行っています。設問3はコロナ禍以後、委員会に参加されなくなりました。今後に望みをかけます。これからも小教区が存続するなら彼らが主となる小教区になるのは必至です。設問4は参加していたのになにか立ち消えました。司祭の意向をわたしはよく存じ上げません。見直しを要検討というところです。